

4 ワイズスペンディングをさらに展開

都の財政負担を軽減

～ 独法化による効果を生かし病院のワイズスペンディングを実現 ～

- 国による社会保障費抑制圧力(診療報酬マイナス改定の見込み)や消費税増税など、病院経営を取り巻く環境は今後も厳しくなる見込み
- 先行独法では、職員の増員等により患者サービスの充実・患者増を図るなど、設立から10年間程度で経営改善が明らかになっている事例が多くあり、こうした事例を踏まえ、都においても経営改善

<独法化効果による収支の改善効果>

- 機動的な人材確保により医療の質を向上させ、新入院患者の確保や診療単価の向上により収益を改善(稼ぐ力を増強)
- 柔軟な契約手法の導入などにより費用縮減
- 収支改善により、負担金の縮減が可能となる